

復興設計賞と福島県建築文化賞を受賞しました

建築学科の浦部智義教授とその研究室(建築計画研究室)が計画・設計に携わった葛尾村復興交流館あぜりあが2023年12月に『第5回復興設計賞』、スマート・ウェルネス・タウン・ベップ・モトマチが2024年1月『第39回福島県建築文化賞復興賞』をそれぞれ受賞しました。共に、実作の建築を対象に現地審査を経て表彰するもので栄えある受賞となりました。



とみおかアーカイブ・ミュージアム 企画展に協力しました

今春、福島県富岡町のとみおかアーカイブ・ミュージアムで開催された企画展「震災遺産を考える2024 ～ビッグパレットふくしま避難所を考える＃1～」において、建築学科の市岡綾子専任講師が東日本大震災時にビッグパレットふくしまに設置された建築家坂茂氏による紙の間仕切りシステムの実物や当時の様子がわかる写真など貴重な資料の数々を提供し、展示や取材に協力しました。



桜のキャンパスを一般開放しました

桜の開花時期に合わせて4月8日(月)から14日(日)まで、一般の方々に向けてキャンパスを開放しました。期間中の13日(土)、14日(日)には団子の無料配布を行い、多くの方がご来学されました。期間中は、3,000名を超える大変多くの皆さまがご来学下さいました。



『鋼橋腐食検出AIカメラ』を開発しました

土木工学科の子田康弘教授、情報工学科の中村和樹准教授らの産学研究グループは、福島県産学連携ロボット研究開発支援事業の一環として、鋼橋の腐食検出支援のためのAIカメラを開発しました。畳み込みニューラルネットワークを適用して鋼橋の腐食検出器となる学習モデルを構築し、ソフトウェアとしてAIカメラに組み込むことで持ち運びが容易となり、さらに検出精度の向上も可能となりました。

電気関係学会関西連合大会奨励賞を受賞しました

情報工学専攻博士前期課程2年の吉田鍊平さん(次世代マルチメディアシステム研究室/指導教員:松村哲哉教授)が電気関係学会関西連合大会(開催:2023年11月25日・26日)において、連合大会奨励賞を受賞しました。吉田さんが発表した『深層学習を用いた階層型物体検出手法における近傍探索型領域抽出アルゴリズム』は、自動運転において重要な役割を果たすカメラの性能を向上させるための研究です。



『土木女子の会』の交流会を行いました

1年次生から4年次生までの土木工学科に所属する女子学生で結成される『土木女子の会』では、6月4日(火)に、1年次生の歓迎会を兼ねた交流会を行いました。互いの出身地や趣味などを明かす自己紹介から始まり、ケーキを食べながら歓談するなど、和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごしました。本会では、先輩・後輩の垣根を越えている相談できるだけでなく、様々な活動も行っています。



『スポGOMI in郡山2024』に参加しました

KFB福島放送主催の「スポGOMI in郡山2024」が6月8日(土)に郡山駅西口前広場周辺で開催され、工学部から学術文化サークル連合会と吹奏楽部、北桜祭実行委員会の計3チームがそれぞれ参加しました。当日は各チーム精力的にゴミを集め、参加64チーム中、北桜祭実行委員会は9位、学文連は21位、吹奏楽部は40位でした。



自動車技術独創アイデアコンテスト優秀賞を受賞しました

公益社団法人自動車技術会東北支部主催「第34回自動車技術独創アイデアコンテスト」が行われ、機械工学科3年の佐藤智哉さんと茅野聖也さんが優秀賞、佐藤真聖さんが佳作を受賞しました。3人は機械工学科公認の学生活動団体『機械工学モノづくり工房モビリティデザイン部会』に所属し、自動車に関する研究活動を行うとともに、2024 Ene-1 MOTEGI GPへの挑戦を目指しています。



企業や土木技術者を招いて交流会を行いました

土木工学科では、学生の就職への意識向上と業界研究の促進を目的に、様々な企業や土木技術者を招いて交流会を実施しています。6月1日(土)に徳定川・古川池清掃に参加した企業等約30社と学生との懇親会、7月2日(火)に福島県内の女性技術者と女子学生の交流会、7月5日(金)に建設コンサルタンツ協会東北支部若手の会との交流会をそれぞれ開催し、多くの学生が進路検討に役立てていました。



工学部広報



2024.4.2 開講式 1年生集合写真

ロハスな工学部へようこそ! 新入生特集

CONTENTS

学部長挨拶	1
新任教員紹介	2

■新入生特集

新入生の声	3-4
新入生行事紹介	5-6
食生活サポート	7-8

■学生の活躍	9-10
--------	------

■トピックス

キャンパス来訪	11
工学部の取り組み	12
工学部のイベント	13

■研究特集

ロハス工学センター棟(ロハスの森「ホール」) プレオープンイベント開催	14
工学部だより	15

自ら学び、自ら考え、自ら道をひらき
社会に貢献できるエンジニアを目指して



日本大学工学部長 根本 修克

令和6年度は、工学部および大学院工学研究科への961名の新入学生を迎えて、保護者の皆様も会場に臨席していただきました上で、開講式を挙行できましたことは、本学にとりましてこの上ない喜びであります。

日本大学の教育理念は「自主創造」であり、知的好奇心を持って「自ら学ぶ」、「自ら考える」および「自ら道をひらく」能力を身につけ、新しい道を切り拓くことを意味しています。日本大学工学部では、この理念のもとで、「ロハス工学」をキーワードとした教育・研究活動に取り組んでいます。新入学生および在学生のみなさんが学修・研究活動や課外活動を通してお互いの絆を深めながら「ロハス工学」を学び、日本大学の教育理念である「自主創造」を構成する自ら学び、自ら考え、自ら道をひらく能力の獲得に繋げていくことを期待しています。

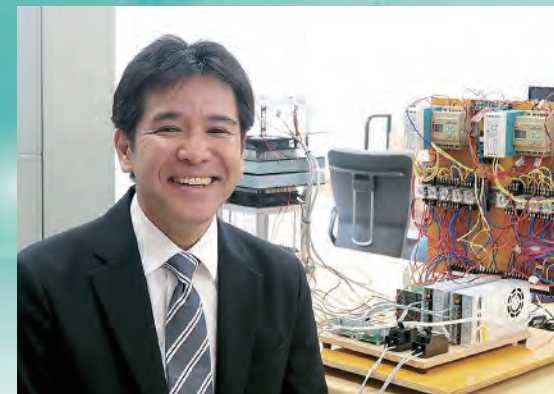
さらに、令和6年度も100名以上の工学部卒業生が大学院工学研究科博士前期課程に進学し、博士後期課程に進学した博士前期課程修了者がおります。工学部新入学生や工学部在学生のみなさんも高度な知識と技術を備えた技術者や研究者として社会で活躍することができるように、大学院進学を強く意識しながら工学部における学生生活を送っていただきたいと思います。健康で持続可能な生活様式を工学的観点から支援しようとする学問である「ロハス工学」を身につけようとしている新入学生および在学生のみなさんは、将来、必ずや大きな社会貢献に資する人材となるものと確信しております。

一方で、「ロハス工学」の重要性を社会にさらに浸透させるために、令和6年度には、ロハスの森と命名したキャンパス内の一画に建造したロハスの森「ホール」をオープンいたします。今後もロハスの森の整備を推進し、さまざまな研究プロジェクトからあげられる研究成果を社会に情報発信するのみでなく、社会貢献に繋げていくための拠点作りを引き続き進めて参ります。

工学部教職員は、一丸となり、新入学生および在学生のみなさん一人一人の学生生活ならびに教育・研究活動のサポートに誠心誠意努めて参りますので、新入学生および在学生のみなさんが夢と希望を持つとともに目的意識をもって学生生活を送ることを切に願っております。

新任教員紹介

新たに着任されました教員の方々をご紹介します。



建築学科 宮城 聡 准教授

建築設備研究室

建築設備の設計を通して環境にやさしい建物の実現を目指す

日本の温室効果ガス排出量の3分の1を占める建築分野において、建物の省エネルギー化は大きな課題であり、中でもエネルギー消費量が多い空調設備の設計が重要な鍵を握っています。そこで、容易に熱を出し入れできる蓄熱システムやエネルギー消費の少ない空調システムを開発し、健康的で快適に過ごせる環境にやさしい建物の実現を目指して研究を行っています。建物を設計するためには多様な工学の知識が必要です。私自身が恩師からの教えや本を読んで得た学ぶことの喜びを学生のみなさんにも伝えていきたいと思っています。

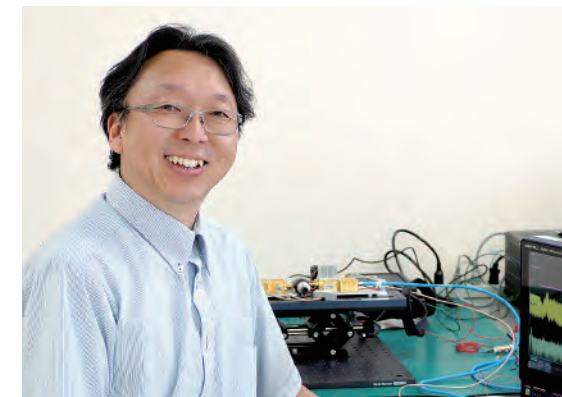
電気電子工学科 碓 智文 准教授

センシングフォトリクス研究室

光センシング技術による社会課題を解決するプラットフォーム

今や情報化社会に欠かせないAI技術。そのデータの基盤を担っているのは電気電子分野の様々なセンシング技術です。世の中にはまだまだ多くの課題が山積しています。目には見えない情報を読み解く光センシング技術を使って、解決のヒントを与えるプラットフォームのような研究室を作るのが目標です。

このような社会との懸け橋となるような研究室を学生のみなさんと一緒に作っていきたくと思っています。他大学や研究所、企業の方々との連携や、異分野・異文化との交流を通して多様な視点や知見を取り入れながら、様々な光を使って目には見えないものを可視化する面白さを追求していきましょう。



電気電子工学科 田村 成 助教

ワイヤレス通信研究室

マイクロ波でものづくりの面白さを体感！
理論をエンジニアリングしよう

高校生の時に普及し始めたスマートフォンに興味を持ったことが、通信に必要な不可欠なアンテナづくりに夢中になるきっかけでした。アンテナにはGPS、WiFi、テレビなど、用途に応じて様々な形や規格があります。自然豊かな郡山で、地域の電波状況をよくする新しいアンテナの開発に挑戦したいと思っています。新しい価値を生み出すためには、失敗しても諦めず、最後まで情熱を持って挑むことが大事です。理論をエンジニアリングし、ものづくりの面白さを体験しながら、学生自身がいろいろなことに挑戦できる環境をつくっていきます。



情報工学科 伊藤 真 助教

ネットワーク制御工学研究室

工学部入学から母校の教員へ！
ITを駆使して地域に貢献していきたい

高校教員の道、プログラマーの道、どちらも目指せる環境である工学部の情報工学科を選びました。学びを経て、大学4年次には大学教員を目指すことを決めました。主たる研究テーマは、トラヒックエンジニアリング。近未来での実用化を目指し、機械学習技術を用いたネットワーク経路の最適化に関する研究に取り組んでいます。また、情報工学技術を障がい者教育や、人の健康や命を守るシステムなどへの応用研究に取り組みたいと考えています。卒業生として、地元福島やこれまで支えていただいた方に恩返しできるよう、学生たちを支え、地域貢献に尽力いたします。



新入生の声



オープンキャンパスで見た 地震防災の研究に惹かれて

土木工学科 工藤 秀太さん

青森県 弘前工業高校出身

地震や災害に強いものづくりに興味があり、土木工学科に進学しました。高校で履修していない数学などの科目でつまづきそうになりましたが、チューターの先輩方にわかりやすく教えてもらえるので大変助かります。人前で堂々と話せるようになりたくて演劇部に入部。寮生活は安心かつ快適で、アルバイトもしながら充実した学生生活を送っています。

ロハス工学の視点で地域再生や 未来のまちづくりを学びたい

建築学科 鶴見 和希さん

静岡県 科学技術高校出身

復興が続いている福島県なら、実践的な地域再生について学べると思いました。工学部はアットホームでサポートが充実していることも魅力です。実際に空き家のリノベーションなどで地域との関わりが持てる学生団体「chi縁」に入りました。授業で学んだことを地域の中で形にしていける貴重な経験を通して、建築再生に関する知識を身につけたいです。

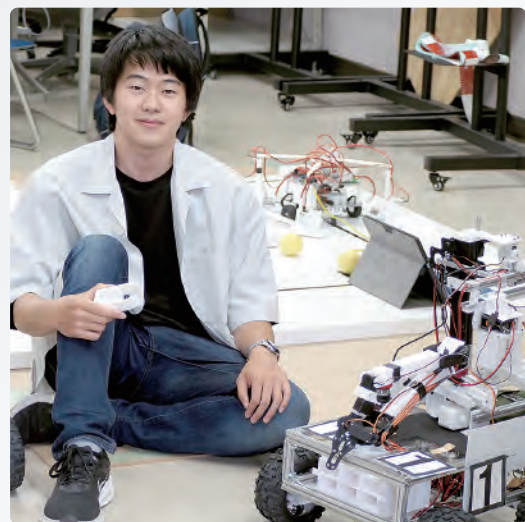


夢はロボットをつくること モノづくり工房で腕を磨く

機械工学科 上野 真二郎さん

北海道 北見北斗高校出身

幼い頃からガンダムのプラモデルをつくる父の姿を見て、ガンダムのようなロボットをつくらせたいと思っていました。機械工学科にはモノづくり工房があると知り、早速サステナブルロボット部会に入りました。今は、北桜祭で展示するロボットの製作に取り組んでいます。普通自動車免許を取得したら、次はアルバイトや資格にも挑戦したいです。



新入生のみなさん！ようこそ日本大学工学部へ。

全国から集った仲間とともに、叶えたい夢、成し遂げたい目標に向かって一歩踏み出した新入生のみなさんに、その思いを語っていただきました。



ワイヤレス電力伝送の技術で 停電のない社会に貢献したい

電気電子工学科 仲本 柊哉さん

沖縄県 浦添高校出身

ワイヤレス電力伝送に興味を持ったことがきっかけで、この学科に入りました。特に面白いのは電気電子製作実習。エレキギターの製作では、弦の振動を拾うコイルの作成や拾った信号を増幅させるアンプも作っています。フォークソング同好会と音楽研究会に所属している私には、とても楽しい授業です。アルバイトも掛け持ちし、自分の限界に挑戦中です。

チューター制度があるから安心 水質の研究ができる工学部へ

生命応用化学科 堀川 瀬奈さん

秋田県 大曲農業高校出身

高校で化学を履修していなくて不安でしたが、チューター制度があることを知り入学を決意。実際に利用してみて、予想以上の点数が取れました。今後も単位を落とさないよう頑張ります。この学科の魅力は先生との距離が近く、気軽に相談できること。仲のよい友人もたくさんできました。将来は、水質に関わる環境系の仕事に就きたいと思っています。



自然豊かで充実した施設設備 勉学に集中できる環境が魅力

情報工学科 伊藤 光希さん

埼玉県 春日部高校出身

IT関連の仕事をしている父の影響もあり、理系の中でも情報工学が自分に向いていると思いました。やはりプログラミングの授業が面白いです。自分が入力した記述通りにコンピュータが動いたり、失敗しても原因を探り、学びながら成長していく感覚を味わえるのが楽しいです。在学中の目標は情報系の資格を取ること。ボランティアにも参加してみたいです。



新入生行事紹介

いよいよ大学生活がスタート! //

工学部開講式

4月2日(火)工学部大講堂において、令和6年度日本大学工学部開講式が開催されました。開花を目前に控えた桜並木の下、まるでその蕾のように夢と希望に胸を膨らませた新入生たちが集い、工学部生としての第一日を迎えました。会場には多くの保護者の皆さまも参加いただき、共に門出を祝うことができました。緊張感が漂う中、いよいよ大学生活が始まりました。

ロハス工学はここにしかないから、学んだら強みになると思っています!



新入生歓迎行事

第1部 新入生歓迎講演会

開講式に続いて「ロハス工学への期待～時代の転換期を楽しく生きるために～」と題して、日本大学客員教授である後藤千恵氏より、これからロハス工学を学ぶ新入生へ、未来に果たす役割についてご講演頂きました。



第2部 在学生によるサークル紹介

後藤千恵氏の講演の後はサークル団体による新入生歓迎パフォーマンスを披露しました。75団体の中から6団体のステージ発表を行いました。



桜家一門YOSAKORI隊



新入生保護者を対象とした学部説明会

新入生保護者の方を対象とした説明会を70号館で開催し大勢の皆さまにご参加いただきました。工学部の教育の特色や就職状況、様々なサポート体制の紹介に加え、在学生からもキャンパスライフを紹介。学生の一日常や就職活動、大学院生の研究活動など、実際の学生目線、生の声で工学部の様子を伝えました。



大学授業・生活について
電気電子工学科4年
内山 英穂さん

// 5年ぶりに実施! //

新入生学外研修

4月5日(金)、5年ぶりとなる新入生学外研修が行われました。工学部では、新入生が一日も早く大学生活に慣れることや友だちづくりを目的に、入学直後に学科ごとに新入生全員が参加する1泊2日の学外研修を2019年度まで実施していました。2020年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学外研修を取りやめて学内での研修に切り替えていましたが、本年度は制限が緩和されたことから、日帰りの学外研修を実施しました。



土木工学科は小名浜道路といわきマリンブリッジを見学しました!

教員から橋梁の説明

// より充実したキャンパスライフへ! //

サークル勧誘

4月11日(木)、春の陽気に包まれた工学部ではサークル勧誘が行われ、会場となった70号館および62号館(ハットNE)の屋外北側通路にはたくさんの在学生・新入生が集い、賑わいを見せていました。今年は新入生の悩み・不安に、オープンキャンパス実行委員会の学生たちが応える「学生相談」、機械工学科公認学生活動団体「モノづくり工房」の見学も実施しました。



空手道部



サイクリング部



異文化コミュニケーション研究会

サークルに入って充実した大学生活にしよう!



ソフトテニス部



// グローバルな大学生活! //

留学生ガイダンス 留学生交流会



5月11日(土)、留学生ガイダンスと留学生交流会を開催しました。留学生ガイダンスは在留資格等の必要な手続きに関する説明を行い、留学生交流会では、異文化コミュニケーション研究会と合同で中国、マレーシア、ロシアからの留学生を含め、約40名がバーベキューを楽しみました。

// 他学部とのオンラインセッションも実施! //

日本大学ワールド・カフェ

6月2日(日)、全学共通教育科目「自主創造の基礎」の授業として「日本大学ワールド・カフェ」工学部会場を70号館で行いました。「ワールド・カフェ」とは、カフェで行うようなオープンで自由な会話を通してこそ新たな発想が期待できる、という話し合いの手法のことを言います。当日は工学部1年次生の各学科混成グループで「大学ってどんなところ?」をテーマにグループで協働ワークを行いながら日本大学のスケールメリットを認識し、また学生それぞれが持つ多様な価値観に触れ、アイデアや考えを共有しました。



教員はカフェ店員に扮して参加!

// トモダチの輪を広げよう!!! //

新入生学内研修

4月4日(木)、令和6年度日本大学工学部学内研修が行われました。コロナ禍にスタートした学内研修「トレジャーハンティング」。この企画も4回目となり、広大なキャンパスを有する工学部の恒例行事となりつつあります。ゴールを目指してチーム全員で協力するうちに、工学部のことも仲間のこともぐんと身近に感じられるようになったのではないのでしょうか。



工学部キャンパスライフを楽しもう!!

食生活サポート

新入生の食生活を支える厚生施設を先輩たちが紹介

リポーター オープンキャンパス実行委員会

コスパ最高!工学部自慢の学食!!

学生食堂

場 所 62号館(ハットNE) 1階

営業時間 平日11:00～15:00、17:00～20:00
(ラストオーダー 19:40)、
土曜11:00～14:00、日曜・祝日休業

「安く、美味しく、栄養満点!」が自慢の学生食堂は、カレー、定食はもちろん、麺類、丼ぶりまで、バラエティに富んだラインナップも魅力的! その日の気分に合わせてピッタリのランチが楽しめます。それでも迷った時は日替わり定食! 定番メニューにはないレアなグルメが味わえるから、学食のXは要チェックです!

学食のXはこちらから▶



後援会からの補助により、
通常よりもお手頃な価格を実現!*

*一部メニューに限りです。

学生
イチオシ
「温玉唐揚げ丼」

景色を楽しみながら
味わう贅沢ランチ!

スカイレストラン

場 所 55号館 情報研究棟8階

営業時間 平日11:00～14:00、土曜・日曜・祝日休業

スカイレストランの魅力は、なんといっても風光明媚な景色を眺めながら優雅に食事ができること。安達太良山を一望できる最高のロケーションとアツアツの鉄板メニューで、ちょっぴり贅沢な気分を味わっちゃいましょ! 鉄板メニューは鶏ステーキやハンバーグなど種類も豊富。ふわふわ卵のオムハヤシライスもおススメですよ!



伝説の
「金沢カレー」も大人気!

学生の
お気に入りスポット
No.1!

カフェテリア

場 所 62号館(ハットNE) 2階

営業時間 平日11:00～15:00、土曜・日曜・祝日休業

手作りサンドウィッチやフライドポテトなどの軽食と、チョコドーナツやソフトクリームといったスイーツが楽しめるカフェテリア! カレーパンやあんドーナツ、チュロスは揚げたてだから美味しさも倍増!! 昼時は焼肉丼やのり弁などのお弁当も販売しています。友だちと勉強するにもゲームをするにも最適な場所です!



夏はかき氷が
おススメ!

人気店のランチが工学部で味わえる!!

キッチンカー

場 所 70号館北側屋外

営業時間 授業日の平日10:30～14:00(無くなり次第終了)

グルメな学生も大満足!! お洒落なキッチンカー「フードトラックズZai」が、毎日工学部にやって来ます! しかもほぼワンコインだから超お得! 炭火焼の香りがたまらない牛ステーキ弁当、ピリ辛旨しビビンバ丼、見栄えも“いいね”なクレープなどなど。日替わりで人気店の自慢の味が堪能できるから、昼の愉しみが増えました!

ヘルシー! オイシイ!
ロコモコ丼



工学部生独占! コンビニエンスストア

ファミリーマート

場 所 62号館(ハットNE) 2階

営業時間 毎日8:00～19:00

あの“ファミマ”が、今年4月から私たちの“コンビ”になりました! お菓子の種類の多さはおやつ好きの学生の間でも話題になっているとか! ? キャッシュレスで本格的コーヒーが味わえるのも嬉しいですね。朝食を食べ損ねた時、授業の合間、サークルに行く前に、さっと寄れちゃう便利な相棒!



やっぱりコレでしょ!
“ファミチキ”

学生の活躍

学会での受賞や地域貢献活動をクローズアップ

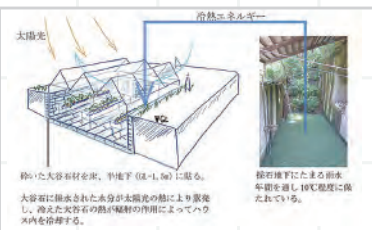
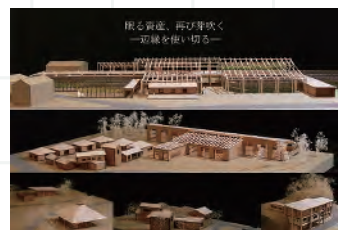


JIA全国学生卒業設計コンクール2024に出場

2月に行われた『JIA東北学生卒業設計コンクール2024（公益社団法人日本建築家協会東北支部主催）』の審査会で、田端萌美さん（当時建築学科4年）の『眠る資産、再び芽吹くー辺縁を使い切るー』が満票で最優秀賞を受賞。この結果、『JIA全国学生卒業設計コンクール2024』の東北支部選考作品として選出され、田端さんは6月29日（土）に行われた全国大会に臨みました。

この作品は、栃木県宇都宮市にある「石切りの町」の採石業と人々の暮らしに着目し、半地下農法という新しい産業をはめ込む計画により、地域の活性化を提案したものです。毎年、全国から高いレベルの作品が出展されるコンクールに、工学部から11年連続で全国大会出展を果たしていることは快挙と言えます。田端さんは「他大学の大学院生との交流もあり、全国大会はとても刺激になりました。より高い志を持って大学院で学んでいきたい」と研究への意欲を高めていました。

建築学専攻博士前期課程1年 田端 萌美さん
（栃木県／太田原女子高校出身）
建築計画研究室（指導教員：浦部智義教授）

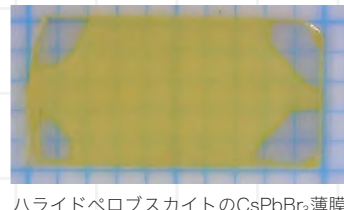
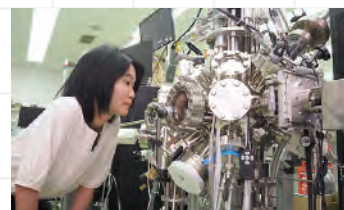
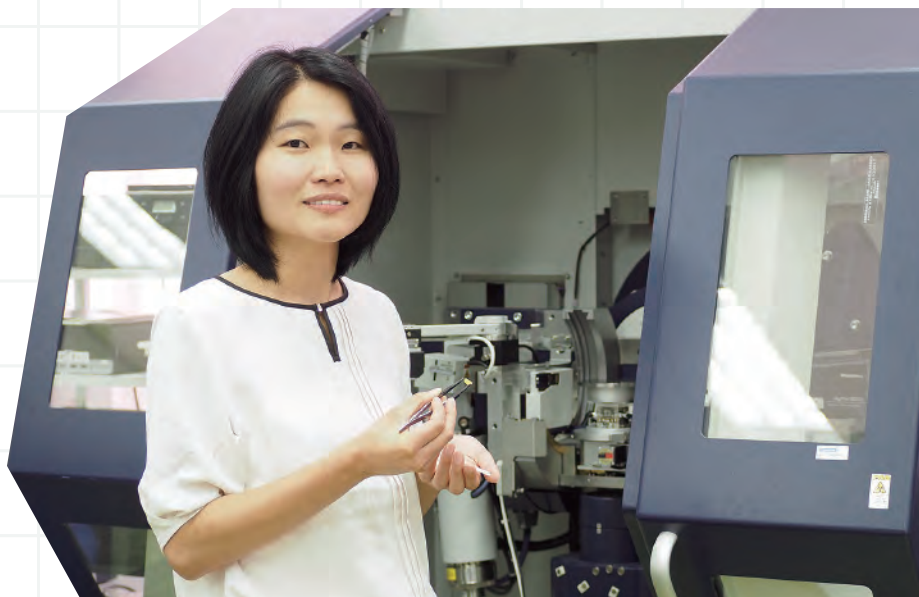


令和6年度日本学術振興会 特別研究員(DC2)に採用

この度、鈴木静華さんが独立行政法人日本学術振興会の令和6年度特別研究員(DC2)に採用されました。特別研究員は毎年申請者の2割程度しか採用されない狭き門と言われています。

薄膜および表面界面物性関連区分での採用となった鈴木さんの研究課題『イオン液体を介した真空プロセスによるハライドペロブスカイト単結晶薄膜の創製』は、太陽電池などの半導体材料として注目を集めているハライドペロブスカイトを用いて、高性能な薄膜の作製を目指す研究です。イオン液体を介した薄膜プロセス技術の開発、PLASMA機械学習を用いたベイズ最適化というインフォマティクス手法によるプロセス開発を行う点がこの研究の特長であり、評価につながりました。

電気電子工学専攻博士後期課程3年 鈴木 静華さん
（静岡県／第一学院高校出身）
磁気工学研究室（指導教員：遠藤拓教授）
薄膜機能材料研究室（指導教員：高橋竜太教授）



ハライドペロブスカイトのCsPbBr₃薄膜



4名の学生が『学生アンバサダー』に任命されました

4月26日（金）、学生アンバサダーに任命された電気電子工学科4年高木大伸さん（新潟県／新潟産業大学附属高校出身）、電気電子工学科3年宮本りの愛さん（茨城県／下妻第二高校出身）、土木工学科2年小松崎諒真さん（茨城県／水戸工業高校出身）、建築学科2年鈴木ひかりさん（福島県／郡山北工業高校出身）の4名に、広報担当の遠藤拓教授より委嘱状が交付されました。工学部では、令和4年4月から高大連携推進室を開設し、ロハス工学の特色と魅力を伝える様々な

情報提供をはじめとして、工学部の広報活動を通じて、工学的、倫理的思考を兼ね備えた人材の育成を目的とする学生アンバサダー制度を設け、地域社会の発展に貢献する活動を進めています。これまでに3名の学生が任命され、学内外での広報活動に従事し、大きな成果を挙げているため、新たに任命された学生たちの活躍にも大いに期待が寄せられています。

ものづくりの楽しさや
工学部の魅力を
伝えられるような活動を
していきたいと思います。

土木工学科2年 小松崎 諒真さん
（茨城県／水戸工業高校出身）



日大工学部の顔として、
学生目線での充実した
大学生活について
発信していきたいです。

建築学科2年 鈴木 ひかりさん
（福島県／郡山北工業高校出身）



今年も始動！ オープンキャンパス実行委員会 『ロハスの畑プロジェクト』

オープンキャンパス実行委員会では、J A福島さくら様にご協力いただき、工学部キャンパス内でサツマイモを育てる『ロハスの畑プロジェクト』を昨年から実施しています。土壌中の微生物により水と二酸化炭素に完全に分解される生分解性マルチフィルムを使い、農薬や化学肥料に頼らない環境にやさしい循環型農業の実証実験を兼ねた取り組みです。今年は生ごみから作った液肥や竹を粉状



にした「竹パウダー」も使用。5月25日（土）には 有志約30人、J A福島さくら様の職員の方々とともに、約3アールの畑を耕し、6月8日（土）にはサツマイモの苗を植えました。今後は定期的に除草や水撒きを行い、10月に収穫する予定です。子どもたちの収穫体験や北桜祭での販売などを通して、地域との関わりや社会人基礎力も身につけていきます。

■ キャンパス来訪

林真理子理事長、大貫進一郎学長らが工学部訪問



前列左から：ソコワ山下聖美副学長、大貫進一郎学長、根本修克工学部長、林真理子理事長、渡辺美代子常務理事
後列左端：小堂俊孝副学長／後列右端：大熊智之常務理事

本学の林真理子理事長、大貫進一郎学長、大熊智之常務理事、渡辺美代子常務理事、ソコワ山下聖美副学長、小堂俊孝副学長の6名の日本大学役員の方々が、4月10日(水)、桜満開の工学部キャンパスを訪問されました。学生支援室からロハス工学センター棟、70号館の教室、五十嵐ホール、男子学生寮「パンテリアン郡山」を視察し、学生たちの普段の様子もご覧になりました。その後、62号館(ハットNE)の学生食堂で学生たちとの昼食会が開かれ、食事をとりながらの懇談は時に笑いも起こる楽しい時間となったようでした。学生たちにとっても日本大学の一員であることを再確認する良い機会になりました。

五十嵐ホール、五十嵐奨学金の由来となった
五十嵐ご夫妻が工学部を訪問

4月10日(水)、新潟から五十嵐澄夫様、弘子様ご夫妻が桜花爛漫の工学部キャンパスをご訪問されました。この日、工学部を訪問されていた林理事長と記念撮影を行うとともに、林理事長から感謝の意が述べられました。五十嵐様は、29歳の若さで逝去されたご子息の雅史さん(平成6年度建築学科卒業)の遺志を受け継ぎ、「母校のお役に立てれば」と、工学部に多額のご寄付をされました。当時建設中だった70号館の1階7014教室を五十嵐雅史さんに因んで、「五十嵐ホール」と命名。植樹されたソメイヨシノは、ご夫妻、雅史さんの思いとともに、毎年満開の花を咲かせています。また、工学部奨学基金へもご寄付をいただき、その資金をもとに「五十嵐奨学金」を創設。これまでに200名近い学生が「五十嵐奨学金」を受給しています。

■ 工学部の取り組み

東北初SDGsの推進と
防災啓発に向けた取り組みの
推進に関する協定締結

5月16日(木)、工学部と公益社団法人日本非常食推進機構(三重県松坂市、古谷賢治理事長)との間で、賞味期限の近づいた災害対策用備蓄物資を有効活用し、SDGsの達成に貢献する取り組みを実施することによって、フードロス削減などの社会的な課題に向き合うと共に広い世代への防災啓発活動を行うための連携と協力に関する協定締結が本館3階第一会議室において執り行われ、根本修克工学部長と古谷賢治理事長が協定書にサインしました。これを機にさまざまな活用が期待されます。

「策用備蓄物資を有効活用したSDGs推進及び活動に係る連携と協力に関する協定」締結式



写真左：古谷賢治理事長、写真右：根本修克工学部長

高大連携の
取り組みへと発展する
ロハスの池プロジェクト

ロハス工学センタープロジェクト「古川池の持続可能な防災親水公園化プロジェクト(通称：ロハスの池プロジェクト/リーダー：土木工学科 手塚公裕准教授)」では、地域にある古川池の治水対策や環境整備に関する研究活動を行っています。4年目を迎えた本年度からは、近隣の日本大学東北高等学校理科部と園芸部、帝京安積高等学校理科研究部、あさか開成高等学校の水環境の保全に関心のある生徒も参加するなど、地域全体の取り組みへと発展しています。高校生たちは大学生とともにロハスの池で様々な植物を栽培しながら、水環境の調査を進めるとともに、徳定川・古川池清掃活動にも参加して大いに活躍しています。



日本大学東北高等学校理科部のみなさん

生理用ナプキン無料提供サービス
「OiTr(オイテル)」の運用スタート

工学部では、快適で持続可能なキャンパスの構築を目指し、学生との意見交換の場を設けて、積極的に学生の意見を取り入れています。特に女子学生から要望が多かった女子更衣室の新設や和式トイレの洋式化などの環境整備に注力。さらに、学生サークル、土木女子の会のメンバーと工学部の女性職員がディスカッションを重ねた結果、日本大学としては初、生理用ナプキン無料提供サービス『OiTr(オイテル)』の導入が決定。学内4か所、計6台を設置し、今年4月1日から運用を開始しました。



工学部のイベント

東京ドームホテルで 卒業記念パーティーを開催

3月25日(月)、令和5年度日本大学卒業式が日本武道館にて行われました。その後、東京ドームホテルにて工学部学位記授与式及び卒業記念パーティーを開催。博士学位取得者、学長賞、優等賞、工学部長賞、後援会賞、校友会賞の表彰に続いて行われたパーティーでは、お笑いコンビ『どぶろっく』が登場し、大人の笑いあり、涙あり、あるあるな歌ネタありで、会場は大いに盛り上がりました。最後に、卒業生を代表して建築学科4年の松本景虎さんが挨拶し、感謝の言葉を述べるとともに、新たなステージでのさらなる飛躍を誓いました。



企業とのコラボ企画が面白い！ オープンキャンパス2024を開催

5月26日(日)、工学部が推進する「ロハス工学」の学びを体験できる『オープンキャンパス2024』を開催しました。大学の研究や学びの一端に触れるプログラムのほか、企業とのコラボ企画も実施。土木工学科では実際に建設業界で使われている3Dレーザースキャナや複合現実(MR)技術を活用したHolostructionの体験などがあり、訪れた高校生も最新の建設DXに感動していました。8月のオープンキャンパスではさらにパワーアップしたコラボ企画を予定しています。



学校推薦型選抜特別奨学生 証書授与式及び昼食会を開催

6月20日(木)、令和6年度日本大学工学部学校推薦型選抜特別奨学生証書授与式が行われました。学校推薦型選抜特別奨学生は本年度より設置された工学部独自の新しい奨学金制度で、4年間で120万円が給付されます。本奨学金を希望する多数の1年次生の中から、学業成績及び人物優秀な12名の学生が選ばれました。授与式では、一人一人に根本修克工学部長より証書が手渡されるとともに、御祝いと期待の言葉が贈られました。その後行われた昼食会では各学科に分かれ、和やかな雰囲気の中での食事をしながら先生方との親睦を深めていました。

研究特集

ロハス工学センター棟 (ロハスの森「ホール」) プレオープンイベント開催

5月26日(日)、オープンキャンパスの開催に合わせて、ロハス工学センター棟のプレオープンイベントが行われました。プレオープニングセレモニーに先立ち、報道関係各社への説明と内覧会、VR体験会を開催。

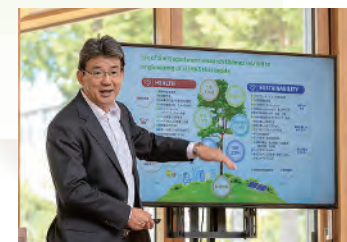
はじめに、工学研究長である岩城一郎教授よりセンター棟建築に至る経緯について説明を行い、続いて建築学科の浦部智義教授より、ロハス工学センター棟建築に関わる技術的な説明やデザインの意図、また今後の展望が語られました。弓形のデザインが特徴的な建物には、同研究室らが開発にも携わる県産の無垢材を縦に並べてパネルにする『縦ログ構法』や地下水を熱源として地中熱と太陽熱を活用した水蓄熱空調システムなど、各所にロハス工学の研究成果と実証試験設備が盛り込まれています。

内覧会では、土木工学科の中野和典教授から屋上緑化に関する説明、機械工学科の宮岡大専任講師から蓄熱などエネルギーについての説明、ロハス工学センター棟の将来像を紹介するVR体験会もあり、このホールがロハス工学を具現化していることをより深くご理解いただきました。

プレオープニングセレモニーでは、根本修克工学部長より愛称『ロハスの森「ホール」』が宣言され、今後、新たなロハス工学の拠点として、地域社会に貢献できる研究成果を発信していくことを明言しました。

プレオープニングセレモニー終了後は一般開放され、訪れた学生やオープンキャンパスの来場者は木の温もりや香りを感じながら、ロハス工学の技術の一端に触れていました。

今後『ロハスの森』エリアは学生、企業、地域住民の方々の交流や展示会、見学会、ワークショップなどで活用するために整備を進める予定です。



WEB記事はこちら▶